

学校給食費無償化

杉並区でもスタート

物価高騰のなか、保護者の負担軽減へ



区役所の給食展示より

10月1日より、杉並区でも区立小・中・特別支援学校の給食費無償化がスタートしました。物価高騰が深刻化するなか、保護者から歓迎の声が寄せられています。

給食費無償化は、本来、国が進めるべきことですが、岸田政権が未だ実施に踏み出さないなか、東京23区では、22区が独自に実施、1区は来年度からの実施を表明しており、国策としての実施が求められています。杉並区の実施も含め、これまで未実施区の全てが無償化等を決定したことは、政府に対して決断を迫る大きな力となります。

党区議団の長年の要望が実現へ 条例提案権行使し負担軽減求める

党区議団は、一貫して給食費無償化を求め続けてきました。議案提案権を行使し、学校給食の負担軽減条例も提出しました。

岸本区長就任後、党区議団の質問に対し「早期実施を目指す」と表明していましたが、第3回定例会で実現しました。

無償化は今年度末までの補正予算であり、来年度以降も無償化を継続することが求められます。また、今後、区内の私立・都立学校等に通う児童生徒も対象とすること、透明性や公平性の向上のため公会計化を進めることが必要です。引き続き拡充を求めます。

「給食費無償化を含む補正予算」に対する各会派の賛否

会派・人数	自無	共産	立憲	公明	無都	生ネ	維新	れ耕	安心	参政	革新	杉み	セン	緑グ	杉わ	共生	無	無杉
人数	10	6	6	6	4	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
賛否	×	○	○ 欠1	○	×	○	○	○ 1 ×1	○	○	欠	○	×	○	○	○	×	議長

※「れいわを耕す」会派は賛成1人、反対1人と賛否が分かれた。
※議長は表決に加われないため空欄。賛否：○/賛成、×/反対、欠/欠席
※会派の正式名称：自無/自民党・無所属杉並区議団、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、無都/無所属・都民ファーストの会、生ネ/区議会生活者ネットワーク、維新/杉並維新の会、れ耕/れいわを耕す、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、杉み/杉並みらいの会、セン/杉並をセンタク致し候、緑グ/緑の党グリーンズジャパン、杉わ/杉並わくわく会議、共生/共に生きる杉並、無/無所属（堀部）、無杉/無所属杉並



杉並区の学校給食費の実態

小学生一人当たり	年56,933円
中学生一人当たり	年66,659円
※全学年の平均金額（党区議団調べ）	

無償化等を求めた質問・条例提案（抜粋）

- 2017年第1回定例会 一般質問
- 2018年第3回定例会 一般質問
- 2019年第1回定例会 条例提案
- 2022年第4回定例会 一般質問
- 2023年第2回定例会 一般質問

■小中学校の保護者から党区議団に寄せられた声

- 物価がどんどん上がるなか、給食費も比例して上がるのか…という漠然とした不安から解放されたことがうれしかったです。支払いが困難な世帯もあるだろうから…（小学生保護者）
- 小学生2人、中学生1人の子供がいて、月に14,000円程度の給食費支払いがあったので、とても助かります！（小・中学生保護者）
- 本当に助かります！給食費の振込は郵便局なので、お給料から振り込むのにも振り込み手数料がかかります。毎日のご飯の食材を、1円でも安いところを探してスーパーをハシゴするなか、手数料は痛手でした。日々の生活が少しでも楽になるのがありがたいです。（小学生保護者）

区内事業者への電気・ガス代支援

始まる

党区議団の選挙公約 実現へ

10月1日から、区内中小事業者に対して物価高騰による電気代・ガス代の値上げ分への支援として、「杉並区中小企業光熱費高騰緊急対策助成金」制度が始まりました。

党区議団が区長申し入れ等で実施を求め続けてきたことです。

杉並区中小企業光熱費高騰緊急対策助成金

特設サイト→

<https://kyuufukin-info-suginami.org/kounetsuhi/>
助成金額のシミュレーションやオンライン申請が行えます。

※申請は12月31日まで

コールセンター：0120-270-094（フリーダイヤル）



物価高騰などで
お困りの方は
なんでも
ご相談ください。



くすやま美紀(団長)
☎080-5531-8236
荻窪5-15-19-704



山田耕平(幹事長)
☎090-9973-0941
善福寺2-2-11



富田たく(副幹事長)
☎090-9001-5249
高円寺南3-59-7-301



酒井まさえ
☎090-9325-5676
堀ノ内1-9-7



小池めぐみ
☎090-5516-3284
阿佐谷北1-3-9



和氣みき
☎090-4154-9786
浜田山3-26-27富貴ビル1F

岸本区政スタートから1年余

前区政の問題を改善し、多くの前向き変化生まれる

党区議団の積極提案が次々と実現 区政が動く!!



物価高騰対策を求め、4回にわたる申し入れ

岸本区政がスタートし、1年5カ月が経過しました。この間、前区政での住民軽視、区政私物化、福祉切り捨て等の問題は、岸本区長のもとで着実に改善されています。党区議団は、こうした変化をさらに前進させるべく、さまざまな提案を行ってきました。実現した提案の一部を紹介します。

ジェンダー平等、人権尊重の杉並区へ

★ 性を理由とする差別の禁止、パートナーシップ制度創設
党区議団→前区政時代から制度の導入を求め実現。さらに事実婚を含めた拡充を求めている。

**★ 働きやすい職場環境へ
ハラスメントゼロ宣言**

党区議団→区職員が意欲的に職務に臨み、積極的に意見表明でき、風通しの良い職場環境を作るためのハラスメント対策を求める。



小池めぐみ議員

■ハラスメント対策についての職員の声

ハラスメントを当事者として「しない」、「させない」だけでなく、「見過ごさない」ことにも意識するようになった。(杉並区・令和4年度ハラスメントに関するアンケート調査集計結果(第2回)より)

情報公開を徹底、前区政の区政私物化を是正

★ 「区政の情報は区民のもの」、過去にさかのぼって情報公開が加速

党区議団→これまでの非公開資料も開示するよう求め、情報公開の徹底を求める。



富田たく議員



これまでの非開示情報が開示された例↑

物価高騰対策が前進 4回にわたる申し入れで対策迫る

★ 物価高騰による電気ガス代値上げへの支援始まる(表面)
前区政の給食費値上げ、保護者負担増は是正 令和5年度10月から給食費無償化始まる。(表面)

党区議団→前区政時代から給食費の保護者負担引き下げ求める。給食費無償化を継続して求める。

★ 家賃助成制度、令和6年度から実施へ 実施に向けて対象者や助成額等を検討

党区議団→23区中19区が実施していることを示し、前区政時代から継続して求める。



くすやま美紀議員

遅れていた福祉・教育施策が前進

★ 補聴器の購入費助成が始まる 想定を上回る申込拡大により、補正予算でさらに拡充

党区議団→23区中17区が実施していることを示し、住民運動と連携し実施を迫る。前区政は実施しなかったものの、岸本区政で実現。

■補聴器購入費助成の実施についての感謝の声

助成制度が始まってすぐに補聴器を買いました。テレビの音量を大きくしなくてもよくなって人と話す時も、よく聞こえます。認知症予防にもなり、感謝しています。

★ 全小中学校女子トイレへの生理用品配置

党区議団→前区政時代から再三にわたり、実施を迫り、岸本区政で実現。

★ 重度障害者の就労支援開始

党区議団→障害者団体の要望を受け、重度障害者の就労支援の実施を求める。

■重度障害者の就労支援開始についての感謝の声

障害があっても「働きたい」と思う気持ちに区が応えてくれました。障害者が普通に働く社会の実現に向けて大事な取り組みです。



山田耕平議員

★ 就学援助の認定基準引き上げ

党区議団→前区政で引き下げられた就学援助の認定基準引き上げと対象拡大を求め実現。さらなる拡充を求めている。

★ 生活保護制度 扶養照会は申請者の意思を尊重 扶養照会実施率大幅低下

党区議団→前区政の時から、扶養照会を実施する際は相談者の意思を尊重するよう求める。



和氣みき議員

住民との対話を深め、住民と共にまちづくりを進める

★ 児童館、ゆうゆう館等の廃止計画見直し 住民と共に施設のあり方を検討へ

党区議団→児童館、ゆうゆう館の存続を求める。住民参加による見直しを求める。

★ 都市計画道路 住民と課題を共有、議論を深め、考えまとめる。「さとことブレスト」「デザイン会議」等、住民意見聴取と対話、意見交換の場を確保

党区議団→住民合意の無い都市計画道路の見直しを求め、住民との対話によるまちづくりを徹底するよう求める。



酒井まさえ議員

■都市計画道路での対話が始まったことに関する感謝の声

岸本区長さんは、補助133号線の計画地を住民と一緒に歩いて、私たちの声を聴いてくれました。私たちはここに住み続けていきたいです。暮らしを守ってほしいです。

★ 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり 住民の疑問の声にこたえる場を設置

党区議団→これまでの不透明な手続きを明らかにし、徹底した情報公開により住民の疑問・不安に応えるよう求める。